

施設長	看護師	栄養士	相談員	介護主任	記録者
					佐々木

会議名	大野和幸園 運営推進会議
開催年月日	令和2年 9月 29日 (火)
会議参加者名	町会長：横山芳信 様 青森市福祉部介護保険課主査：中川広樹様 青森市おおの地域包括支援センター：牧野田鶴子様 オンブズマン：蒔苗美智子様 経営参与：風晴良一 施設長：吉田幸子 介護主任：花田 剛 生活相談員：佐々木瑠衣
議題	1. 入居状況 2. 状況報告 3. 入居申し込み状況 4. 行事について 5. 参加者様より
<p>1. 入居状況</p> <p>○長期入居</p> <p><8月> 8/31付 在籍 29名 入退居:0名 入院日数:0日 稼働率 100% 平均介護度 4.2</p> <p><9月>9/28付 在籍 29名 入退居:0名 入院日数:0日 稼働率 100% 平均介護度 4.2</p> <p>○短期入所</p> <p><8月></p> <p>1日平均利用者数 9.6人 利用実人員 11名 (女性9名、男性2名)</p> <p><9月> (9/28)</p> <p>1日平均利用者数 9.6人 利用実人員名 (男性2名、女性10名)</p> <p>→新規SS: 男性1名 1泊2日のお試し利用</p> <p>他、入居待ち利用の女性 胆管結石の為、2泊3日の入院治療、その後SS再開。</p> <p>2. 状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット内、居室内での面会制限は継続。エントランスで、時間は10分程度、ご家族のみとさせて頂き行っている。体調不良など入居者の状況により、居室で対応している。WEB面会も実施中。 ・各ユニット・会議室等にWi-Fiが通り、現在のツトを活用しながら、業務削減・ペーパーレスに向け実践中。会議・カンファレンス等においてもiPadで行っている。 	

- ・結核検診の要精査者2名、再検にて結核ではないが肺炎等の他症状確認され10/1再受診となっている。
- ・法人大運動会への参加・和幸保育園による「敬老交流会」受け入れ、敬老祝賀会開催という行事を楽しまれた。（記録参照）
- ・YouTubeに「ズンドコ体操」掲載。『大野和幸園』で検索してみてください。
今後も色々な事を発信していく予定。

・事故

9/28（月）8:15頃、大野町内の十字路で大野和幸園職員が絡む交通事故あり。
怪我等はなく過失割合50:50も、「不注意」との指導受けている。
譲り合いの精神と、慎重な運転をするよう再度全職員に注意喚起している。

3. 入所申し込み状況

新規入居申込者 7月：3名 8月：4名 計 7名
申込待機者 110名 ※適宜、整理

4. 行事予定について

<8月・9月> 行事報告

- ・8/5 ひだまりの会 ・8/27 にじの会 ・8/29 法人大運動会
- ・9/7 ひだまりの会 ・9/14 和幸保育園交流会 ・9/17 敬老祝賀会
- ・9/24 にじの会

<10月>の行事予定

- ・10/3 オンブズマン合同会議
- ・10/5 ひだまりの会 10/22 にじの会
- ・適宜、紅葉ドライブ

※ひだまりの会・にじの会…音楽療法士による音楽クラブ（月1回開催）

5. 出席者より

○町会長様より

- ・町内の事故について、十字路は特に見通しが悪くなっているの、どちらが優先とかではなく確認をお願いします。以前より市へ停止線や信号機など要望を出しているが、簡単ではない。やはり皆さん一人ひとりに対応して頂くしかないと思います。
- ・町会の敬老会はコロナの関係で中止。75歳以上の該当者が53名おり、町内から菓子折りを配らせて頂いた。秋祭りも中止となった。今後も状況を見ながら活動していきたい。

○青森市役所介護保険課

- ・申し込み待機者について、待機年数はどのくらいですか？
→書類上の人数と実際の待機人数は変わってきますが、ショートステイ利用を含めると3~4か月以内の方が多いです。空いた部屋のユニットの状況や、利用者、ご家族の状況、入居時期などの双方のタイミングで、ご利用頂いています。
- ・女性の方が多き理由は？
→特にありません。入居者様の状況に応じ、相談させて頂いています。
- ・コロナ禍において、県外に出た方の面会はどうしていますか？

2週間という制限を設けていましたが、今後は、その時点で体調不良がなければ、3密を避け対応する方向も含めて検討しています。

→時々、面会制限について市役所へ苦情が入ります。県外へ出た方等、一律で2週間面会できない、又訪問介護も断るなどといった内容です。市も国もそのような基準を設けているわけではないですし、それぞれの立場の中で自主的に判断はして頂きたいが、あくまでも“サービスの継続”ということが大前提となりますので、今後もそれを妨げるようなことはしないようにお願いしたいです。現在、検討中ということですのでよろしいと思います。今後ともいろいろと大変だと思いますが宜しく申し上げます。

○おおの包括支援センター様より

- ・感染予防対策のところで、いろいろな施設へ訪問し話を聞いていると、やはり行事が中止となったり、閉じこもって外に出る機会がなくなっているところが多いです。そんな中、この規模で運動会をやられていることに驚きました。それには感染しないようにということでもかなり神経も遣い、何より皆様が一層しっかり勉強し、根拠をもって対応されていることを感じました。面会に関しても、時間を決めたり、エントランスで3密を避ける工夫をしているということに感心しました。これからは、気を遣いながらも活動をしていかなければならないという流れになってくると思いますので、今後も取り組みを継続して頂ければと思います。

○オンブズマン様より

- ・この状況での運動会の開催に驚きました。施設の敬老会も本気で楽しんでいることが伝わりました。日常や行事の写真（スライドショー）を通し、普段の様子がよく分かります。高齢者虐待などの話もありますが、どの職員も優しくそうでこういう所に入りたいたいと思っています。又、化粧をして出かけている写真から、女性はやはり洋服と化粧で気分が変わりますので、そういう機会があるということを知ったのも嬉しい情報でした。早くコロナがなくなればいいと思います。

○風晴経営参与より

- ・現在の特養は、措置時代と違い、いかに充実した1日を過ごすかというところで頑張っています。リハビリも、大野和幸園には専門職を配置していないが、代わりに看護師が、体力を落とさないように考えてやっています。
- ・運動会についても、ギリギリまで判断できず、2つのプランを準備し当日の状況をみての開催となりました。敬老会も、今年にご家族にご遠慮頂くことになり、それでも少しでも楽しんで頂きたいという気持ちで工夫し考えてやっております。今後も、できないではなく、“やれることの最高のやれること”を考えていきながら進めていきたいと思っていますので、どうぞご協力をお願い致します。

6. 次回運営推進会議予定 令和2年11月

以上